

7. 交流・理解・協力
台東区の提携自治体

都 市 名	概 略	提 携 の 動 機
墨田区 (昭和52年4月10日提携)	中小の事務所や工場が住宅と混在するいわゆる「下町」である。	隅田川をはさんで隣接し、また、同じ東京の下町として密接な繋がりを持つ両区が、共に協調し交流と相互協力を深めることにより、区民生活の向上をはかる。
オーストラリア マンリー市 (昭和57年8月14日提携)	州都シドニーに隣接するリゾート都市。美しい海水浴場を持つ。	海外の自治体と交流することにより市民相互の交流を盛んにする。また、異なった文化や風土を知り、相互理解の基礎を築くとともに、みずからの文化を見つめ直す。
宮城県 大崎市(旧古川市) (昭和59年1月14日提携)	ササニシキを主産とする農業が基盤である。東北新幹線、東北縦貫自動車道の開通により商業・工業都市として発展中。 H18.3.31に、古川市、松山町、三本木町、鹿島台町、岩出山町、鳴子町、田尻町が合併し、大崎市となる。	東北新幹線の開通を機縁として生まれた信頼と友情の絆をゆるぎないものとし、一層の相互交流を行うことにより互いの繁栄と発展を目指す。
長野県 諏訪市 (昭和59年7月10日提携)	諏訪湖の東岸に位置し、霧ヶ峰高原等の観光地を有する。	四半世紀にわたる「霧ヶ峰学園」の運営、そして新たな少年自然の家「霧ヶ峰学園」建設を通じて育んできた友情の絆を一層深いものとし、両都市相互の発展をはかる。
栃木県 日光市(旧藤原町) (昭和60年5月10日提携)	全国的に有名な鬼怒川・川治温泉郷を有し、観光資源が豊富である。70数軒の旅館・ホテルに年間約250万件の客が訪れる。 H18.3.20に藤原町、日光市、今市市、足尾町が合併し、日光市となる。	東武鉄道によって直結という関係を背景として培ってきた住民同士の交流を一層促進し、友情の絆を深め、両都市の進展に寄与することを目指す。
福島県南会津郡 南会津町(旧田島町) (昭和61年10月8日提携)	南会津地方の政治経済の中心地。61年10月の会津鬼怒川線開通により、浅草と直結した。 H18.3.20に田島町、舘岩村、伊南村、南郷村が合併し、南会津町となる。	会津鬼怒川線の開通を契機として友情と連帯の絆を結び、もって相互の繁栄と住民生活の一層の向上を目指す。
福島県大沼郡 会津美里町(旧会津高田町) (昭和61年11月21日提携)	豊かな自然と特色ある産物を有し、会津文化発祥の地として知られる。戦争中、下谷・西町小の学童疎開先であった。 H17.10.1に会津高田町、会津本郷町、新鶴村が合併し、会津美里町となる。	学童疎開を機縁として育んできた友情と信頼を基に、一層の交流を進め、住みよい地域社会と豊かな住民生活のため惜しみない努力を行う。
大分県 豊後大野市(旧朝地町) (昭和62年12月10日提携)	彫塑家朝倉文夫の生地。 奥豊後の雄大な自然を持ち、磨崖仏等の文化財が多く畜産が盛んな「安らぎと芸術の里」である。 H17.3.31に朝地町、三重町、清川村、緒方町、大野町、千歳村、犬飼町が合併し、豊後大野市となる。	台東区名誉区民である故朝倉文夫の芸術を介して育んできた友情と信頼を一層深め、豊かな地域社会の発展と住民生活向上のため、たゆまぬ努力を誓う。
オーストリア ウィーン市第1区 (イネレシュタット) (平成元年4月5日提携)	音楽の都、ウィーンで、モーツァルトやベートーベンなどが活躍した。国立オペラ劇場やウィーン大学などがある。	歴史と文化のまちという共通点をもつ台東区と第1区は、文化の交流、人的交流を展開する。
デンマーク グラズサックセ市 (平成12年4月17日提携)	首都コペンハーゲンに隣接し、緑豊かな自然環境を有する。人口は約6万人で、デンマークでは比較的大きな自治体である。	平成3年以来、福祉ボランティア研修や中学生教育使節団の相互訪問など、福祉や教育の分野を中心に交流を重ねてきた。それぞれに異なった文化や生活様式などを理解し、互いの発展を目指すものである。

交流促進課